

令和 8 年度

市道千本屋御名線舗装工事

設計書

見積設計書

工事番号 宍建工工第080105号

路線名等 市道千本屋御名線

工事箇所 宍粟市山崎町中井 地内他



宍 粟 市

工 事 費				概 要	
基準適用日 8/9/1	実 施 (前回変更)	今 回 変 更		舗装修繕 延長 L=985.4m 幅 W=6.9m	
設 計 額 (内消費税額)	円 (円)	円 (円)	円 (円)	切削オーバーレイ工 6,830 m2	
請 負 額 (内消費税額)	円 (円)	円 (円)	円 (円)	区画線工 3,319 m	
執 行 方 法	請 負	施 工 期 限	令和9年2月5日 限り		

総括情報表

頁0-0001/0061

単価適用年月日	00-08. 09. 01 (0)		
	今 回		前 回
工種区分 (公共) 施工地域区分 前払区分 契約保証費用 週休 2 日 補正	06 舗装 32 一般交通影響有り (2) - 1 02 補正なし 1.00 01 計上する 04 週休 2 日 補正なし		

工事費内訳書

頁0-0002/0061

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
道路維持							
舗装工							
切削カーレー工							
切削カーレー							
路面切削 全面切削6cm以下(4000m2を超え) 段差すりつけの撤去作業有り							
		6,830	m2				施工 第0 -0001号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[下水スラグ入再生材](13) ; (2.35)							
		6,830	m2				施工 第0 -0002号内訳表
殻運搬(路面切削)							
殻運搬(路面切削) ; DID区間->無し L =1.0km以下							
		341	m3				施工 第0 -0003号内訳表

工事費内訳書

頁0-0003/0061

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
運搬費						
; 運搬距離 3 9 . 7 km	1		台			施工 第0 -0004号内訳表
殻処分						
処分費						
アスファルト殻						
; 投棄量 3 4 1 m3	1		式			施工 第0 -0005号内訳表
処分費						
舗装版切断濁水						
投棄量0.08t	1		式			施工 第0 -0006号内訳表
区画線工						
区画線工						
熔融式区画線						
区画線設置 [熔融式]						
実線 15cm t=1.5mm	1,960		m			施工 第0 -0007号内訳表
区画線設置 [熔融式]						
破線 15cm t=1.5mm	9		m			施工 第0 -0010号内訳表

工事費内訳書

頁0-0004/0061

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置 [溶融式] 実線 20cm t=1.5mm						
	950		m			施工 第0 -0013号内訳表
区画線設置 [溶融式] ゼブラ 45cm t=1.5mm						
	230		m			施工 第0 -0016号内訳表
区画線設置 [溶融式] 矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm						
	170		m			施工 第0 -0019号内訳表
構造物撤去工						
構造物取壊し工						
舗装版切断						
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下						
	20		m			施工 第0 -0022号内訳表
仮設工						
交通管理工						

工事費内訳書

頁0-0005/0061

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員						
交通誘導警備員 B						
	66		人日			施工 第0 -0023号内訳表
直接工事費計						
共通仮設費計						
運搬費						
			式			
建設機械運搬費						
			式			
建設機械運搬 [車載] 路面切削機[廃材積込装置付切削幅2.0m] ; 運搬距離 1 7 . 1 km						
	1		式			施工 第0 -0024号内訳表
共通仮設費率分						
			式			
純工事費計						

工事費内訳書

頁0-0006/0061

費目・工種・種別・細目		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
現場管理費											
					式						
工事原価計											
一般管理費等											
					式						
工事価格											
消費税相当額											
					式						
合 計											

工事費内訳書

頁0-0007/0061

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
附帯工事費 (1)							
管路							
仕切弁・消火栓工							
仕切弁・消火栓BOX工							
仕切弁・消火栓BOX高さ調整工							
仕切弁BOX高さ調整 内径250							
		4		箇所			施工 第0 -0025号内訳表
消火栓BOX高さ調整 丸型・内径500							
		1		箇所			施工 第0 -0033号内訳表
消火栓BOX高さ調整 角形・内径500×400							
		1		箇所			施工 第0 -0037号内訳表
仮設工							

工事費内訳書

頁0-0008/0061

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通管理工						
交通誘導警備員						
交通誘導警備員 B						
	2		人日			施工 第0 -0023号内訳表
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			
工事原価計						

工事費内訳書

頁0-0009/0061

費目・工種・種別・細目		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
一般管理費等											
					式						
工事価格											
消費税相当額											
					式						
合 計											

工事費内訳書

頁0-0010/0061

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
附帯工事費(2)						
管路						
マンホール工						
組立マンホール工						
組立1号マンホール						
1号マンホール鉄蓋撤去工	1		式			施工 第0 -0041号内訳表
1号マンホール調整工	1		式			施工 第0 -0043号内訳表
仮設工						
交通管理工						

工事費内訳書

頁0-0011/0061

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員						
交通誘導警備員 B						
	1		人日			施工 第0 -0023号内訳表
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費率分						
			式			
純工事費計						
現場管理費						
			式			
工事原価計						
一般管理費等						
			式			

工事費内訳書

頁0-0012/0061

費目・工種・種別・細目		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
工事価格											
消費税相当額											
					式						
合 計											
工事価格計											
消費税相当額											
					式						
総 計											

積算単価算出表

路面切削

[規格1] 全面切削6cm以下(4000m2を超え)

[規格2] 段差すりつけの撤去作業有り

[摘要]

施工 第0 -0001号内訳表

頁0-0013/0061

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格			単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		路面切削機 切削幅2.0m [ホイル式・廃材積込装置付・排ガス(第3次)]				路面切削機 [ホイル式・廃材積込装置付・排ガス(第3次)] 2.0m×23cm				
	K2		路面清掃車 ホッパ 容量1.5m3 [ブラシ・四輪式]				路面清掃車 [ブラシ・四輪式] ホッパ 容量1.5m3				
	K										
	R1		普通作業員				普通作業員				
	R2		土木一般世話役				土木一般世話役				
	R3		運転手(特殊)				運転手(特殊)				
	R4		特殊作業員				特殊作業員				
	R										
	Z1		軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油				
	Z										
							計				
	積算単価 =										

積算単価算出表

路面切削

[規格1] 全面切削6cm以下(4000m2を超え)

[規格2] 段差すりつけの撤去作業有り

[摘要]

施工 第0 -0001号内訳表

頁0-0014/0061

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
A B		施工区分・平均切削深さ	=2		全面切削	6cm以下(4000m2を超え)				
		段差すりつけの撤去作業	=2		有り					

積算単価算出表

表層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[下水スラグ入再生材](13)

[摘要]

施工 第0 -0002号内訳表

頁0-0015/0061

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1	アスファルトフィニッシュ 舗装幅2.3～6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシュ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3～6.0m			
	K2	タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8～20t			
	K3	ロードローラ 質量10～12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10～12t			
	K							
	R1	普通作業員			普通作業員			
	R2	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
	R3	特殊作業員			特殊作業員			
	R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
	R							
	Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン(下水汚泥スラグ入) TOP13			
	Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4 (タックコート用)			
	Z3	軽油 バトロール給油			軽油 バトロール給油			

積算単価算出表

表層(車道・路肩部)

[規格1] t = 5 0 mm

[規格2] 密粒度アスコン[下水スラグ入再生材](13)

[摘要]

施工 第0 -0002号内訳表

頁0-0016/0061

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	Z									
							計			
	積算単価 =									
A	平均幅員	=4		3. 0m超						
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50		1層当り平均仕上り厚(mm)						
C	材料	=14		密粒度アスコン[下水スラグ入再生材](13)						
D	夜間割増の有無	=1		無し						
E	瀝青材料種類	=1		タックコート PK-4						

積算単価算出表

殻運搬(路面切削)

[規格1]

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0003号内訳表

頁0-0017/0061

1 m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
	K								
	R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
	R								
	Z1		軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
	Z								
						計			
積算単価	=								
A	DID区間の有無	=1			無し				
B	運搬距離	=3			1.0km以下				

施工 第0 -0004号内訳表

頁0-0018/0061

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

1	台	当り
---	---	----

運搬費

頁0-0019/0061

当り

21/92

施工単価表

施工 第0 -0006号内訳表

頁0-0020/0061

処分費

[規格1] 舗装版切断濁水

[規格2] 投棄量0.08t

[摘要]

1

式

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費	1	律			1 処分費
単 位 当 り	1	式			

施工単価表

施工 第0 -0007号内訳表

頁0-0021/0061

区画線設置 [溶融式]

[規格 1] 実線 15cm t=1.5mm

[規格 2]

[摘要]

1 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置 [溶融式] 機械・労務		m			施工 第0-0008号内訳表
区画線設置 [溶融式] 材料		m			施工 第0-0009号内訳表
単 位 当 り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
B 規格・仕様区分		=1	実線 15cm		
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
D 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
E 未供用区間の補正		=1	供用区間		
F 塗布厚		=1	t=1.5mm		
G 塗料区分		=1	白		
H プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		
I 1日未満で完了する作業		=1	適用しない		

施工単価表

施工 第0 -0008号内訳表

頁0-0022/0061

区画線設置 [溶融式] 機械・労務

[規格1]

[規格2]

[摘要]

1

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置工 溶融式(手動) [昼間] 実線15cm 豪雪無 制約無 供用区間		m			
単 位 当 り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
B 規格・仕様区分		=1	実線 15cm		
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
D 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
E 未供用区間の補正		=1	供用区間		

施工単価表

施工 第0 -0009号内訳表

頁0-0023/0061

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1000	m	当り
名 称 ・ 規 格	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15～18% 比重2.0			kg					1
ガラスビーズ 1号(0.106～0.850mm)			kg					1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9			kg					1
軽油 パトロール給油			L					1
諸雑費			%				#01	
合 計			m					
単 位 当 り	1		m					
A 規格・仕様区分		=1		実線15cm				
B 排水性舗装の補正		=1		一般舗装				
C 未供用区間の補正		=1		供用区間				
D 塗布厚		=1		t=1.5mm				
E 塗料区分		=1		白				
F プライマー規格		=1		アスファルト舗装用				

施工単価表

施工 第0 -0010号内訳表

頁0-0024/0061

区画線設置 [溶融式]

[規格 1] 破線 15cm t=1.5mm

[規格 2]

[摘要]

1 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置 [溶融式] 機械・労務		m			施工 第0-0011号内訳表
区画線設置 [溶融式] 材料		m			施工 第0-0012号内訳表
単 位 当 り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
B 規格・仕様区分		=5	破線 15cm		
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
D 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
E 未供用区間の補正		=1	供用区間		
F 塗布厚		=1	t=1.5mm		
G 塗料区分		=1	白		
H プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		
I 1日未満で完了する作業		=1	適用しない		

施工単価表

施工 第0 -0011号内訳表

頁0-0025/0061

区画線設置 [溶融式] 機械・労務

[規格1]

[規格2]

[摘要]

1

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置工 溶融式(手動) [昼間] 破線15cm 豪雪無 制約無 供用区間		m			
単 位 当 り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
B 規格・仕様区分		=5	破線 15cm		
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
D 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
E 未供用区間の補正		=1	供用区間		

施工単価表

施工 第0 -0012号内訳表

頁0-0026/0061

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1000	m	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15～18% 比重2.0				kg				1
ガラスビーズ 1号(0.106～0.850mm)				kg				1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9				kg				1
軽油 パトロール給油				L				1
諸雑費				%			#01	
合 計				m				
単 位 当 り		1		m				
A 規格・仕様区分			=5		破線15cm			
B 排水性舗装の補正			=1		一般舗装			
C 未供用区間の補正			=1		供用区間			
D 塗布厚			=1		t=1.5mm			
E 塗料区分			=1		白			
F プライマー規格			=1		アスファルト舗装用			

施工単価表

施工 第0 -0013号内訳表

頁0-0027/0061

区画線設置 [溶融式]

[規格 1] 実線 20cm t=1.5mm

[規格 2]

[摘要]

1 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置 [溶融式] 機械・労務		m			施工 第0-0014号内訳表
区画線設置 [溶融式] 材料		m			施工 第0-0015号内訳表
単 位 当 り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
B 規格・仕様区分		=2	実線 20cm		
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
D 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
E 未供用区間の補正		=1	供用区間		
F 塗布厚		=1	t=1.5mm		
G 塗料区分		=2	黄		
H プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		
I 1日未満で完了する作業		=1	適用しない		

施工単価表

施工 第0 -0014号内訳表

頁0-0028/0061

区画線設置 [溶融式] 機械・労務

[規格1]

[規格2]

[摘要]

1

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置工 溶融式(手動) [昼間] 実線20cm 豪雪無 制約無 供用区間		m			
単 位 当 り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
B 規格・仕様区分		=2	実線 20cm		
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
D 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
E 未供用区間の補正		=1	供用区間		

施工単価表

施工 第0 -0015号内訳表

頁0-0029/0061

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1000	m	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
路面標示用塗料 3種1号 溶融 黄 ガラスビーズ含有量15～18% 比重2.0 鉛・クロムフリー				kg				1
ガラスビーズ 1号(0.106～0.850mm)				kg				1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9				kg				1
軽油 パトロール給油				L				1
諸雑費				%			#01	
合 計				m				
単 位 当 り		1		m				
A 規格・仕様区分			=2		実線20cm			
B 排水性舗装の補正			=1		一般舗装			
C 未供用区間の補正			=1		供用区間			
D 塗布厚			=1		t=1.5mm			
E 塗料区分			=2		黄			
F プライマー規格			=1		アスファルト舗装用			

施工単価表

施工 第0 -0016号内訳表

頁0-0030/0061

区画線設置 [溶融式]

[規格 1] ゼブラ 45cm t=1.5mm

[規格 2]

[摘要]

1 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置 [溶融式] 機械・労務		m			施工 第0-0017号内訳表
区画線設置 [溶融式] 材料		m			施工 第0-0018号内訳表
単 位 当 り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
B 規格・仕様区分		=12	ゼブラ 45cm		
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
D 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
E 未供用区間の補正		=1	供用区間		
F 塗布厚		=1	t=1.5mm		
G 塗料区分		=1	白		
H プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		
I 1日未満で完了する作業		=1	適用しない		

施工単価表

施工 第0 -0017号内訳表

頁0-0031/0061

区画線設置 [溶融式] 機械・労務

[規格1]

[規格2]

[摘要]

1

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置工 溶融式(手動) [昼間] ゼブラ45cm 豪雪無 制約無 供用区間		m			
単 位 当 り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
B 規格・仕様区分		=12	ゼブラ 45cm		
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
D 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
E 未供用区間の補正		=1	供用区間		

施工単価表

施工 第0 -0018号内訳表

頁0-0032/0061

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1000	m	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15～18% 比重2.0				kg				1
ガラスビーズ 1号(0.106～0.850mm)				kg				1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9				kg				1
軽油 パトロール給油				L				1
諸雑費				%			#01	
合 計				m				
単 位 当 り		1		m				
A 規格・仕様区分			=12		ゼブラ45cm			
B 排水性舗装の補正			=1		一般舗装			
C 未供用区間の補正			=1		供用区間			
D 塗布厚			=1		t=1.5mm			
E 塗料区分			=1		白			
F プライマー規格			=1		アスファルト舗装用			

施工単価表

施工 第0 -0019号内訳表

頁0-0033/0061

区画線設置 [溶融式]

[規格 1] 矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm

[規格 2]

[摘要]

1 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置 [溶融式] 機械・労務		m			施工 第0-0020号内訳表
区画線設置 [溶融式] 材料		m			施工 第0-0021号内訳表
単 位 当 り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
B 規格・仕様区分		=13	矢印・記号・文字	15cm換算	
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
D 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
E 未供用区間の補正		=1	供用区間		
F 塗布厚		=1	t=1.5mm		
G 塗料区分		=1	白		
H プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		
I 1日未満で完了する作業		=1	適用しない		

施工単価表

施工 第0 -0020号内訳表

頁0-0034/0061

区画線設置 [溶融式] 機械・労務

[規格1]

[規格2]

[摘要]

1

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置工 溶融式(手動) [昼間] 矢印・記号・文字15cm換算 豪雪無 制約無 供用区間		m			
単 位 当 り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
B 規格・仕様区分		=13	矢印・記号・文字	15cm換算	
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
D 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
E 未供用区間の補正		=1	供用区間		

施工単価表

施工 第0 -0021号内訳表

頁0-0035/0061

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1000	m	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15～18% 比重2.0				kg				1
ガラスビーズ 1号(0.106～0.850mm)				kg				1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9				kg				1
軽油 パトロール給油				L				1
諸雑費				%			#01	
合 計				m				
単 位 当 り		1		m				
A 規格・仕様区分			=13		矢印・記号・文字			
B 排水性舗装の補正			=1		一般舗装			
C 未供用区間の補正			=1		供用区間			
D 塗布厚			=1		t=1.5mm			
E 塗料区分			=1		白			
F プライマー規格			=1		アスファルト舗装用			

積算単価算出表

舗装版切断(アスファルト舗装版)

[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0022号内訳表

頁0-0036/0061

1 m 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [バキューム式(超低騒音型)・湿式]			コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・湿式] 20cm級			
	K								
	R1		特殊作業員			特殊作業員			
	R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R3		普通作業員			普通作業員			
	R								
	Z1		コンクリートカッタ(フレート) 径18インチ			舗装版切断 カッターフレート 径18インチ			
	Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン スタンド			
	Z								
						計			
	積算単価 =								
A	舗装版種別			=1		アスファルト舗装版			
B	アスファルト舗装版厚			=1		15cm以下			

施工 第0 -0023号内訳表

頁0-0037/0061

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

人目 当り

交通誘導警備員 B

単位当り

A	交通誘導警備員区分
B	労務費調整係数

人

人目

$$\begin{array}{c} =2 \\ =1 \end{array}$$

交通誘導警備員	B
労務費調整係数	

施工単価表

施工 第0 -0024号内訳表

頁0-0038/0061

建設機械運搬 [車載]

[規格 1] 路面切削機[廃材積込装置付切削幅2.0m]

[規格 2]

[摘要]

1

式

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建設機械運搬費 (往路)		台			
建設機械運搬費 (復路)		台			
<< 1 台当りの金額 >>		台			
<< 1 式当りの金額 >>		式			
<< 1 式当り (配分額) >>		式			
単 位 当 り	1	式			
A 機械種別		=1	路面切削機[廃材積込装置付切削幅2.0m]		
B 排出ガス対策区分		=4	排出ガス対策型(第3次基準)		
C 運搬距離(km)		=17.1	運搬距離(km)		
D 使用台数(台)		=1	使用台数(台)		
E 経費配分率		=1	経費配分率		

施工単価表

施工 第0 -0025号内訳表

頁0-0039/0061

仕切弁BOX高さ調整

[規格 1] 内径250

[規格 2]

[摘要]

1

箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	4.0	m			施工 第0-0022号内訳表
舗装版破碎積込(小規模土工)	0.9	m2			施工 第0-0026号内訳表
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	0.3	m3			施工 第0-0027号内訳表
埋戻し 上記以外(小規模) 土砂	0.3	m3			施工 第0-0028号内訳表
基層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[下水スラグ入再生材](13)	0.9	m2			施工 第0-0029号内訳表
鉄蓋設置・撤去工(円形1号 内径250)	1	個			施工 第0-0030号内訳表
レンコンクリート製ボックス設置・撤去 (円形) 円形1号 内径250 上部壁 高さ 150mm	1	個			施工 第0-0031号内訳表
レンコンクリート製ボックス設置・撤去 (円形) 円形1号 内径250 調整リング 高さ 50mm	1	個			施工 第0-0032号内訳表
単 位 当 り	1	箇所			

積算単価算出表

舗装版破碎積込(小規模土工)

[規格1]

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0026号内訳表

頁0-0040/0061

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格				構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		小型バックホウ(クローラ型) 山積0.13m3(平積0.10m3) [標準型・排出ガス型(第2次基準値)]					小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 0.13/0.10m3			
	K										
	R1		運転手(特殊)					運転手(特殊)			
	R										
	Z1		軽油 パトロール給油					軽油 パトロール給油			
	Z										
								計			
積算単価	＝										

積算単価算出表

床掘り

[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0027号内訳表

頁0-0041/0061

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
	K								
	R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
	R2		普通作業員			普通作業員			
	R								
	Z1		軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
	Z								
						計			
積算単価	＝								
A	土質		=1		土砂				
B	施工方法		=5		上記以外(小規模)				

積算単価算出表

埋戻し

[規格1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0028号内訳表

頁0-0042/0061

1 m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
	K2		タンパ° 及びドラム 質量60～80kg			タンパ° 及びドラム [ランマ] 60～80kg			
	K								
	R1		普通作業員			普通作業員			
	R2		特殊作業員			特殊作業員			
	R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
	R								
	Z1		軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
	Z2		ガソリン レギュラー スタンド°			レギュラーガソリン スタンド			
	Z								
						計			
	積算単価	=							

積算単価算出表

埋戻し

[規格 1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格 2]

[摘要]

施工 第0 -0028号内訳表

頁0-0043/0061

1

m3

当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	A	施工方法	=5		上記以外(小規模)					
	B	土質	=1		土砂					

積算単価算出表

基層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[下水スラグ入再生材](13)

[摘要]

施工 第0 -0029号内訳表

頁0-0044/0061

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		振動ローラ(舗装用) 質量0.5～0.6t [ハントガイト式]				振動ローラ(舗装用) [ハントガイト式] 0.5～0.6t			
	K2		振動コンパクタ 質量40～60kg [前進型]				振動コンパクタ [前進型] 40～60kg			
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		再生粗粒度アスコン TOP20 t=50mm				再生密粒度アスコン(下水汚泥スラグ入) TOP13			
	Z2		アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用				アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
	Z3		ガソリン レギュラー スタント				レギュラーガソリン スタント			
	Z4		軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油			
	Z									

基層(車道・路肩部)

〔規格 2〕 密粒度アスコン〔下水スラグ 入再生材〕 (13)

施工 第0 -0029号内訳表

頁0-0045/0061

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

施工单価表

施工 第0 -0030号内訳表

頁0-0046/0061

鉄蓋設置・撤去工(円形1号 内径250)

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

個

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0 -0031号内訳表

頁0-0047/0061

レジンコンクリート製ボックス設置・撤去（円形）

[規格1] 円形1号 内径250 上部壁 高さ 150mm [規格2]

[摘要]

1 個 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
単 位 当 り	1	個			
A 作業区分		=3	設置・撤去		
B 規格		=1	1号 内径250		
C 調整箇所		=2	上部壁		
D 高さ		=3	高さ 150mm		

施工単価表

施工 第0 -0032号内訳表

頁0-0048/0061

レジンコンクリート製ボックス設置・撤去（円形）

〔規格1〕円形1号 内径250 調整リング 高さ 50mm

〔規格2〕

〔摘要〕

1 個 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
単 位 当 り	1	個			
A 作業区分		=3	設置・撤去		
B 規格		=1	1号 内径250		
C 調整箇所		=1	調整リング		
D 高さ		=1	高さ 50mm		

施工単価表

施工 第0 -0033号内訳表

頁0-0049/0061

消火栓BOX高さ調整

[規格 1] 丸型・内径500

[規格 2]

[摘要]

1

箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下	4.8	m			施工 第0-0022号内訳表
舗装版破碎積込(小規模土工)	1.2	m2			施工 第0-0026号内訳表
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	0.4	m3			施工 第0-0027号内訳表
埋戻し 上記以外(小規模) 土砂	0.4	m3			施工 第0-0028号内訳表
基層(車道・路肩部) t = 5 0 mm 密粒度アスコン[下水スラグ 入再生材] (13)	1.2	m2			施工 第0-0029号内訳表
鉄蓋設置・撤去工(円形3号 内径500)	1	個			施工 第0-0034号内訳表
レンコンクリート製ボックス設置・撤去 (円形) 円形3号 内径500 上部壁 高さ 200mm	1	個			施工 第0-0035号内訳表
レンコンクリート製ボックス設置・撤去 (円形) 円形3号 内径500 調整リング 高さ 50mm	1	個			施工 第0-0036号内訳表
単 位 当 り	1	箇所			

施工 第0 -0034号内訳表

頁0-0050/0061

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

普通作業員

単位当り

A	作業区分
B	鉄蓋種類

人

個

	$=3$
	$=3$

設置・撤去
円形3号 内径500

施工 第0 -0035号内訳表

頁0-0051/0061

[規格 1] 円形3号 内径500 上部壁 高さ 200mm [規格 2]

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

普通作業員

名 称	規 格
1、	1、
2、	2、
3、	3、
4、	4、
5、	5、
6、	6、
7、	7、
8、	8、
9、	9、
10、	10、
11、	11、
12、	12、
13、	13、
14、	14、
15、	15、
16、	16、
17、	17、
18、	18、
19、	19、
20、	20、
21、	21、
22、	22、
23、	23、
24、	24、
25、	25、
26、	26、
27、	27、
28、	28、
29、	29、
30、	30、
31、	31、
32、	32、
33、	33、
34、	34、
35、	35、
36、	36、
37、	37、
38、	38、
39、	39、
40、	40、
41、	41、
42、	42、
43、	43、
44、	44、
45、	45、
46、	46、
47、	47、
48、	48、
49、	49、
50、	50、
51、	51、
52、	52、
53、	53、
54、	54、
55、	55、
56、	56、
57、	57、
58、	58、
59、	59、
60、	60、
61、	61、
62、	62、
63、	63、
64、	64、
65、	65、
66、	66、
67、	67、
68、	68、
69、	69、
70、	70、
71、	71、
72、	72、
73、	73、
74、	74、
75、	75、
76、	76、
77、	77、
78、	78、
79、	79、
80、	80、
81、	81、
82、	82、
83、	83、
84、	84、
85、	85、
86、	86、
87、	87、
88、	88、
89、	89、
90、	90、
91、	91、
92、	92、
93、	93、
94、	94、
95、	95、
96、	96、
97、	97、
98、	98、
99、	99、
100、	100、

数	量
---	---

單 位

单	価
---	---

金額

備

考

単位当り

1

個

A 作業区分

B 規格

C 調整箇所

D 高さ

$$= 3$$
 $\mid=3$
$$=2$$

	=4
--	----

設置・撤去

3号 内径500

上部壁

高さ 200mm

施工単価表

施工 第0 -0036号内訳表

頁0-0052/0061

レジンコンクリート製ボックス設置・撤去（円形）

[規格1] 円形3号 内径500 調整リング 高さ 50mm [規格2]

[摘要]

1 個 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
単 位 当 り	1	個			
A 作業区分		=3	設置・撤去		
B 規格		=3	3号 内径500		
C 調整箇所		=1	調整リング		
D 高さ		=1	高さ 50mm		

施工単価表

施工 第0 -0037号内訳表

頁0-0053/0061

消火栓BOX高さ調整

[規格 1] 角形・内径500×400

[規格 2]

[摘要]

1

箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	4.8	m			施工 第0-0022号内訳表
舗装版破碎積込(小規模土工)	1.2	m2			施工 第0-0026号内訳表
コンクリートはつり 平均はつり厚→3cmを超え6cm以下	0.1	m2			施工 第0-0038号内訳表
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	0.4	m3			施工 第0-0027号内訳表
埋戻し 上記以外(小規模) 土砂	0.4	m3			施工 第0-0028号内訳表
基層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[下水スラグ入再生材](13)	1.2	m2			施工 第0-0029号内訳表
鉄蓋設置・撤去工(角形1号 内寸500×400)	1	個			施工 第0-0039号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置・撤去(円形) 円形3号 内径500 上部壁 高さ 200mm	1	個			施工 第0-0035号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 円形3号 内径500 調整リング 高さ 50mm	1	個			施工 第0-0040号内訳表
単 位 当 り	1	箇所			

積算単価算出表

コンクリートはつり

[規格1] 平均はつり厚->3cmを超え6cm以下

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0038号内訳表

頁0-0054/0061

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		空気圧縮機 5m3/min [可搬式・エンジン駆動・スクリーン型] 排出ガス対策型含			空気圧縮機(排出ガス対策型含) 可搬式エンジン 5.0m3/分			
	K								
	R1		特殊作業員			特殊作業員			
	R2		普通作業員			普通作業員			
	R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R								
	Z1		軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
	Z								
						計			
積算単価	=								
A	平均はつり厚			=2	3cmを超え6cm以下				

施工单価表

施工 第0 -0039号内訳表

頁0-0055/0061

鉄蓋設置・撤去工(角形1号 内寸500×400)

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

個

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0 -0040号内訳表

頁0-0056/0061

レジンコンクリート製ボックス設置（円形）

[規格1] 円形3号 内径500 調整リング 高さ 50mm [規格2]

[摘要]

1 個 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
単 位 当 り	1	個			
A 作業区分		=1	設置		
B 規格		=3	3号 内径500		
C 調整箇所		=1	調整リング		
D 高さ		=1	高さ 50mm		

施工単価表

施工 第0 -0041号内訳表

頁0-0057/0061

1号マンホール鉄蓋撤去工

[規格1]

[規格2]

[摘要]

1

式

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	4	m			施工 第0-0022号内訳表
舗装版破碎積込(小規模土工)	0.7	m2			施工 第0-0026号内訳表
コンクリートはつり 平均はつり厚→3cmを超え6cm以下	0.2	m2			施工 第0-0038号内訳表
1号マンホール鉄蓋撤去工 鉄蓋(受枠とも)撤去	1	箇所			施工 第0-0042号内訳表
単 位 当 り	1	式			

施工単価表

施工 第0 -0042号内訳表

頁0-0058/0061

1号マンホール鉄蓋撤去工

[規格1]鉄蓋（受枠とも）撤去

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.03	人			
特殊作業員	0.03	人			
普通作業員	0.06	人			
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 オペレータ付き	0.03	日			
単 位 当 り	1	箇所			

施工単価表

施工 第0 -0043号内訳表

頁0-0059/0061

1号マンホール調整工

[規格1]

[規格2]

[摘要]

1

式

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルト舗装工（人力） 密粒度アスコン[下水スラグ入再生材]（13） t=50 mm	0.7	m2			施工 第0-0044号内訳表
マンホール調整工（蓋のみ） 鉄蓋（受枠とも） 調整資材込	1	式			施工 第0-0047号内訳表
単 位 当 り	1	式			

施工単価表

施工 第0 -0044号内訳表

頁0-0060/0061

アスファルト舗装工（人力）

〔規格1〕密粒度アスコン〔下水スラグ入再生材〕(13) t=5.0 〔規格2〕mm

〔 摘要 〕

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			12
特殊作業員		人			12
普通作業員		人			12
再生密粒度アスコン(下水汚泥スラグ入) TOP13		t			
振動ローラ運転		日			12
振動コンパクタ運転		日			12
諸雑費		%			#02
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A アスファルト混合物の種類 B 仕上り厚(mm) C 瀝青材の種類		=16 =50 =3	密粒度アスコン〔下水スラグ入再生材〕(13) 仕上り厚(mm) 瀝青材なし		
E 歩車道区分 F 昼夜間区分		=1 =1	車道及び路肩 昼間工事		

施工単価表

施工 第0 -0047号内訳表

頁0-0061/0061

マンホール調整工（蓋のみ）

〔規格1〕鉄蓋（受枠とも）

〔規格2〕調整資材込

〔 摘要 〕

1

式

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.08	人			1
特殊作業員	0.08	人			1
普通作業員	0.16	人			1
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 オペレータ付き	0.08	日			
諸雑費	5	%			#01 1
無収縮モルタル 25kg/袋	1	袋			建設物価と積算資料の2誌平均単価
単 位 当 り	1	式			

数 量 総 括 表

工 事 名	令和 8 年度 市道千本屋御名線舗装工事			事業区分	道路維持	
				工種区分	舗装	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 格 式		数 量	単 位	摘 要
本工事費						
道路維持						
舗装工						
切削オーバーレイ工						
切削オーバーレイ						
路面切削	全面切削6cm以下(4000m2を超え) 段差すりつけの撤去作業有り	6833.3		6,830	m2	
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm 密粒度750[下水スラグ 入再生材] (13) ; (2.35)	6833.3		6,830	m2	
殻運搬(路面切削)						
殻運搬(路面切削)	; DID区間->無し L=1.0km以下	341.7		341	m3	
運搬費	; 運搬距離 3 9 . 7 km	1.0		1	台	
殻処分						
処分費	アスファルト殻 ; 投棄量 3 4 1 m3	1.0		1	式	
処分費	舗装版切断濁水 投棄量0.08t	1.0		1	式	
区画線工						

数量総括表

工 事 名	令和８年度　市道千本屋御名線舗装工事		事業区分	道路維持	
			工種区分	舗装	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 規 式	数 量	単 位	摘 要
区画線工					
溶解式区画線					
区画線設置 [溶解式]	実線　15cm　t=1.5mm			m	
		1966.9	1,960		
区画線設置 [溶解式]	破線　15cm　t=1.5mm			m	
		9.0	9		
区画線設置 [溶解式]	実線　20cm　t=1.5mm			m	
		951.3	950		
区画線設置 [溶解式]	ゼブラ　45cm　t=1.5mm			m	
		231.5	230		
区画線設置 [溶解式]	矢印・記号・文字　15cm換算　t=1.5mm			m	
		179.5	170		
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
舗装版切断					
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下			m	
		20.0	20		
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員					

数 量 総 括 表

工 事 名	令和 8 年度 市道千本屋御名線舗装工事			事業区分	道路維持	
				工種区分	舗装	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 式		数 量	単 位	摘 要
	交通誘導警備員 B				人日	
			66.0	66		
共通仮設費						
運搬費						
建設機械運搬費						
	建設機械運搬 [車載]	路面切削機[廃材積込装置付切削幅2.0m] ; 運搬距離 1 7 . 1 km			式	
			1.0	1		

数 量 総 括 表

工 事 名	令和 8 年度 市道千本屋御名線舗装工事			事業区分	道路維持	
				工種区分	舗装	
工 種 ・ 種 別 ・ 細 別 ・ 名 称	規 格	算 式		数 量	単 位	摘 要
附帯工事費(1)						
管路						
仕切弁・消火栓工						
仕切弁・消火栓BOX工						
仕切弁・消火栓BOX高さ調整工						
仕切弁BOX高さ調整	内径250				箇所	
		4.0		4		
消火栓BOX高さ調整	丸型・内径500				箇所	
		1.0		1		
消火栓BOX高さ調整	角形・内径500×400				箇所	
		1.0		1		
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員						
交通誘導警備員 B					人日	
		2.0		2		

数 量 総 括 表

工 事 名	令和8年度 市道千本屋御名線舗装工事			事業区分	道路維持	
				工種区分	舗装	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 式		数 量	単 位	摘 要
附帯工事費(2)						
管路						
マンホール工						
組立マンホール工						
組立1号マンホール						
1号マンホール鉄蓋撤去工			1.0	1	式	
1号マンホール調整工			1.0	1	式	
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員						
交通誘導警備員 B			1.0	1	人日	

数量計算書 (本工事)				
名 称	規 格	計 算 式	単位	数 量
【舗装工】				
舗装版切断	As t=50mm	12.1+7.9	m	20.0
路面切削	t=50mm	2386.5+2358.8+2088.0	m ²	6833.3
表層 (車道・路肩部)	3.0 ≤ W t=50mm	2386.5+2358.8+2088.0	m ²	6833.3
殻運搬 (路面切削)		6833.3 × 0.05	m ³	341.7
殻処分	As殻		m ³	341.7
	舗装版切断濁水	0.023 × 0.05 × 20.0 × 1.4	t	0.03
	舗装版切断濁水 (本工事+附帯工事)	0.03+0.04+0.01	t	0.08
【区画線工】				
区画線設置 [溶融式]	白,実線, W=15cm	328.7+338.6+32.4+338.0+340.0+285.2+304.0	m	1966.9
	白,破線, W=15cm	3.0+3.0+3.0	m	9.0
	黄,実線, W=20cm	331.9+340.0+279.4	m	951.3
	白,セブラ, W=45cm	51.1+47.2+5.6+32.0+5.2+56.0+5.2+24.0+5.2	m	231.5
	矢印・記号・文字 15cm換算	47.5+33.0+33.0+33.0+33.0	m	179.5
15cm換算[内訳]		兵庫県 小型構造物標準図集より		
	矢印, 5mもの 右折	6.66m/箇所 × 3	m	20.0
	矢印, 5mもの 直進・左折	9.15m/箇所 × 3	m	27.5
	ダイヤモンド	16.51m/箇所 × 2 = 33.0 33.0m × 4	m	132.0

本工事

数 量 計 算 書											
測 点	距 離	表層									摘 要
		幅員	平均	面積							
	m	m	m	m ²							
No.0	—	12.10	—	—							
No.0+4.00	4.0	10.00	11.050	44.2							
No.0+11.00	7.0	8.95	9.475	66.3							
No.1	9.0	8.65	8.800	79.2							
No.2	20.0	8.35	8.500	170.0							
No.3	20.0	8.05	8.200	164.0							
No.3+5.30	5.3	7.95	8.000	42.4							
No.3+5.30	—	8.25	—	—							
No.4	14.7	8.00	8.125	119.4							
No.5	20.0	7.50	7.750	155.0							
No.6	20.0	7.10	7.300	146.0							
No.7	20.0	6.95	7.025	140.5							
No.8	20.0	6.80	6.875	137.5							
No.9	20.0	6.60	6.700	134.0							
No.10	20.0	6.30	6.450	129.0							
No.11	20.0	6.10	6.200	124.0							
No.12	20.0	6.10	6.100	122.0							
No.13	20.0	6.10	6.100	122.0							
No.14	20.0	6.10	6.100	122.0							
No.15	20.0	6.15	6.125	122.5							
No.16	20.0	6.15	6.150	123.0							
No.17	20.0	6.20	6.175	123.5							
合 計	340.0			2386.5							

数 量 計 算 書											
測 点	距 離	表層									摘 要
		幅員	平均	面積							
	m	m	m	m ²							
No.18	20.0	6.20	6.200	124.0							
No.19	20.0	6.20	6.200	124.0							
No.20	20.0	6.25	6.225	124.5							
No.21	20.0	6.25	6.250	125.0							
No.22	20.0	6.25	6.250	125.0							
No.23	20.0	6.25	6.250	125.0							
No.23+18.00	18.0	6.25	6.250	112.5							
No.23+18.00	－	6.95	－	－							
No.24	2.0	6.95	6.950	13.9							
No.25	20.0	6.95	6.950	139.0							
No.26	20.0	6.95	6.950	139.0							
No.27	20.0	6.95	6.950	139.0							
No.27+3.60	3.6	6.95	6.950	25.0							
No.27+5.20	1.6	7.65	7.300	11.7							
No.28	14.8	7.65	7.650	113.2							
No.29	20.0	7.65	7.650	153.0							
No.30	20.0	7.65	7.650	153.0							
No.31	20.0	7.65	7.650	153.0							
No.32	20.0	7.65	7.650	153.0							
No.33	20.0	7.65	7.650	153.0							
No.34	20.0	7.65	7.650	153.0							
合 計	340.0			2358.8							

数 量 計 算 書											
測 点	距 離	表層									摘 要
		幅員	平均	面積							
	m	m	m	m ²							
No.35	20.0	7.65	7.650	153.0							
No.36	20.0	7.65	7.650	153.0							
No.36+17.00	17.0	7.65	7.650	130.1							
No.37	3.0	8.55	8.100	24.3							
No.37+2.10	2.1	10.40	9.475	19.9							
No.37+14.80	12.7	9.20	9.800	124.5							
No.38	5.2	6.70	7.950	41.3							
No.39	20.0	6.80	6.750	135.0							
No.40	20.0	6.95	6.875	137.5							
No.41	20.0	6.50	6.725	134.5							
No.42	20.0	6.25	6.375	127.5							
No.43	20.0	6.25	6.250	125.0							
No.44	20.0	6.25	6.250	125.0							
No.45	20.0	6.25	6.250	125.0							
No.46	20.0	6.25	6.250	125.0							
No.47	20.0	6.20	6.225	124.5							
No.48	20.0	6.25	6.225	124.5							
No.49	20.0	6.25	6.250	125.0							
No.49+5.35	5.35	6.25	6.250	33.4							
合 計	305.4			2088.0							

附帯工事(1) 高さ調整工 数量計算書

工種	細別	算式	単位	数量	備考
仕切弁BOX調整工 内径250					
舗装版切断	t=15cm以下	$1.0 \times 4 = 4.00$	m	4.0	
舗装版破碎積込	小規模土工	$1.0 \times 1.0 - 0.18 \times 0.18 \times 3.14 = 0.90$	m ²	0.9	
床掘工	小規模	$0.90 \times 0.3 = 0.27$	m ³	0.3	
埋戻し工	小規模	$0.90 \times 0.3 = 0.27$	m ³	0.3	
舗装工	幅1.4m未満 t=0.05	舗装版破碎積込より	m ²	0.9	
鉄蓋設置・撤去工	丸型・内径250	$= 1.0$	個	1.0	
ボックス設置・撤去	内径250・上部壁	$= 1.0$	個	1.0	
ボックス設置	内径250・調整リング	$= 1.0$	個	1.0	
※調整リング・交換用の鉄蓋は宍粟市支給					
消火栓BOX調整工 丸型・内径500					
舗装版切断	t=15cm以下	$1.2 \times 4 = 4.80$	m	4.8	
舗装版破碎積込	小規模土工	$1.2 \times 1.2 - 0.26 \times 0.26 \times 3.14 = 1.23$	m ²	1.2	
床掘工	小規模	$1.23 \times 0.3 = 0.37$	m ³	0.4	
埋戻し工	小規模	$1.23 \times 0.3 = 0.37$	m ³	0.4	
舗装工	幅1.4m未満 t=0.05	舗装版破碎積込より	m ²	1.2	
鉄蓋設置・撤去工	丸型・内径500	$= 1.0$	個	1.0	
ボックス設置・撤去	内径500・上部壁	$= 1.0$	個	1.0	
ボックス設置	内径500・調整リング	$= 1.0$	個	1.0	
※調整リング・交換用の鉄蓋は宍粟市支給					

附帯工事(1) 高さ調整工 数量計算書

工種	細別	算式	単位	数量	備考
消火栓BOX調整工	角形・内径500×400				
舗装版切断	t=15cm以下	$1.2 \times 4 = 4.80$	m	4.8	
舗装版破碎積込	小規模土工	$1.2 \times 1.2 - 0.5 \times 0.4 = 1.24$	m ²	1.2	
コンクリートはつり	3cm<T≤6cm	$(0.32 \times 0.32 - 0.25 \times 0.25) \times 3.14 = 0.13$	m ²	0.1	
床掘工	小規模	$1.24 \times 0.3 = 0.37$	m ³	0.4	
埋戻し工	小規模	$1.24 \times 0.3 = 0.37$	m ³	0.4	
舗装工	幅1.4m未満 t=0.05	舗装版破碎積込より $= 1.24$	m ²	1.2	
鉄蓋設置・撤去工	角型・内径500×400	$= 1.0$	個	1.0	
ボックス設置・撤去	内径500・上部壁	$= 1.0$	個	1.0	
ボックス設置	内径500・調整リング	$= 1.0$ ※調整リング・交換用の鉄蓋は宍粟市支給	個	1.0	
濁水処理工	舗装切断濁水	$(4.0 \times 4 + 4.8 + 4.8) \times 0.023 \times 0.05 \times 1.4 = 0.04$	t	0.04	本工事に計上する

附帯工事(2) マンホール調整工 数量計算書

工種	細別	算式	単位	数量	備考
1号マンホール鉄蓋撤去工					
舗装版切断	T=15cm以下	$1.0 \times 4.0 = 4.0$	m	4.0	本工事に 計上する
舗装版破碎積込	小規模土工	$1.0 - (0.3 \times 0.3 \times 3.14) = 0.7$	m2	0.7	
濁水処理工	舗装切断濁水	$0.023 \times 0.05 \times 4 \times 1.4 = 0.01$	t	0.01	
コンクリートはつり	3cm<T≦6cm	調整コンクリート撤去	m2	0.2	
1号MH鉄蓋撤去工		鉄蓋撤去	箇所	1	
1号マンホール調整工					
アスファルト舗装工	人力	$1.0 - (0.3 \times 0.3 \times 3.14) = 0.7$	m2	0.7	
蓋据付	鉄蓋(受枠共)	鉄蓋・調整金具は宍粟市支給	箇所	1	

特記仕様書

工 事 名 市道千本屋御名線舗装工事

工事場所 宍粟市山崎町中井 地内他

工 期 令和9年2月5日限り

第1条 適用

本工事の施工にあたっては設計図書によるほか、以下の図書及び本特記仕様書によるものとする。

土木工事共通仕様書（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

土木請負工事必携（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

土木工事施工管理基準（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

小型構造物標準図集（兵庫県土木部）〔平成25年10月〕（最新改訂版）

第2条 一般事項

1. 受注者は施工に先立ち、事前に設計図書の照査を行うものとし、現地との整合性を確認し、疑義が生じた場合は、確認できる資料を書面により提出し、監督員と協議の上処理するものとする。
2. 受注者は施工に先立ち、監督員と立会いの上、BM、工事の起終点、官民境界等を確認しなければならない。また、発注者より貸与する測量成果簿により再測量を行うものとし、その成果を監督員に報告するものとする。

第3条 地元への対応

1. 受注者は本工事を施工するにあたり、事前に自治会長等の関係者に挨拶(報告)すること。
2. （工事用地区域外への対応）
工事施工箇所、資材置き場、資材運搬路等に隣接する土地所有者とトラブルのないよう現地立会し、十分協議すること。また、工事用地以外の区域へ立入りする場合及び草木等の伐採を必要とする場合には、必ず所有者の承諾を得るものとする。（民地を掘削しなければならない時は、官民境界を監督員及び土地所有者と立会確認し、控杭等を設置し保有する。）

第4条 環境対策

1. （排出ガス対策型建設機械）
本工事において、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとし、施工計画書に証明書を添付し提出すること。
2. （公害対策）
 - ① 工事施工により発生する公害は、環境基準を厳守し万全の対策・処置を講じること。
 - ② 本工事箇所は、低騒音・低振動型機械を使用することとし、作業の実施にかかる事前の届出と規制基準の遵守を義務づけられているので、作業開始7日前までに届けるとともに、その写しを1部提出すること。
 - ③ 騒音及び振動、濁水について、工事施工前及び工事施工中において、監督員と協議の上必要に応じて観測を行うものとし、工事により悪化した場合、速やかに対応を行うこととする。なお、前述の観測地点、回数等については監督員と協議のうえ決定するものとし、これに要する費用については、受注者の負担とする。
 - ④ 土砂掘削等による汚水、塵埃、騒音、振動及び路面の汚損には細心の注意を図ること。万一地元及び第三者から苦情があった場合は、受注者で責任を持って処理すること。

第5条 工事中の安全確保

1. （工法変更等への対応）
構造物等の施工に於いて湧水、その他の障害のため通常の工法では初期の目的を達することが出来ない場合、または関係機関と協議の結果、新たな作業及び構造の変更が生じた場合は、対策工法を監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

2. (掘削部の安全施工)
土石崩落等危険と判断される時及び床堀法面において、関係機関との打合せ等により、危険防止のための安全対策等が必要となった場合は、監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。
3. (安全・訓練等の実施)
安全・訓練等の実施については、土木工事共通仕様書第1編を参照のこと。また、実施状況をビデオまたは工事報告書(工事旬報)に記録し報告するほか、写真等も整理のうえ提出すること。(尚、これらに要する経費については、現場管理費率に含む。)

第6条 交通安全管理

1. (道路使用願等)
工事の施工に当たっては、一般通行等に及ぼす影響を最小限になるように施工計画を立案し、監督員と協議すると共に、「道路使用許可願」を所轄警察に提出し、その許可を得るとともに許可証の写しを監督員に提出すること。また、関係機関との協議を発注者と共に行い、必要な安全対策を講じること。
2. (安全施設類)
標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路工事現場における標示施設等の設置基準(土木請負工事必携 11)以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
3. (交通誘導員の有資格)
 - ① 本工事に配置する交通誘導員は、警備員等の検定等に関する規則(平成17年11月18日国家公安委員会規則第20号)等に基づき、交通誘導警備検定合格者(1級又は2級)を規制箇所毎に1名以上配置することとする。
 - ② 受注者は、配置した交通誘導警備検定合格者の検定合格証(写し)を監督員に提出するものとする。
4. (交通誘導員の配置)
交通誘導員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配 置 場 所	交通誘導員	編 成	昼夜別	交替要員の有無
作業起終点・中間	5名/日	交通誘導員B 5名	昼間	有

なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおり。

交通誘導員A：警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員B：警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの

5. (過積載による違法運行の防止について)
過積載による違法運行防止対策として次の事項を遵守すること。
 - ① 積載荷重制限を超えて土砂を積み込まない。
 - ② 過積載を行っている業者から、資材を購入しない。
 - ③ 不正改造運搬車(さし枠装着、違法物品積載装置)を一切使用してはならない。また、工事現場への出入もさせてはならない。

第7条 建設廃材等の処分

1. 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定める廃棄物は、同法に準拠した適切な方法により処分すること。
2. 産業廃棄物の処分にあたっては、同法の許可を持った産業廃棄物処理業者において処分すること。
3. 特定建設資材廃棄物を処分する場合(特定建設資材の分別解体等・再資源化等)
特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の①と②の積算条件を設定している。

① 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

上記①の「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

②再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等諸条件	その他
アスファルト塊 (切削)	(株)イガキ	0.6 km	宍粟市山崎町 千本屋字女薮 291-1 他2筆	兵庫県土木部の「建設 副産物の処理ならびに 受入価格」に掲載され る当該施設の受入条件 を遵守すること	監督員の指 示による

上表②については、積算参考条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

4. 建設リサイクル法等に基づく手続き

受注者は、契約締結までに建設リサイクル法第12条に基づき、必要事項を所定の書面に記載し提出すること。また、工事が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、提出するものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

併せて、再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を提出するものとする。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。掲示様式は県HPに掲載の様式もしくは、建設副産物情報交換システムで出力される様式を使用すること。

5. マニフェストシステムについて

この工事で排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理（再資源化施設、積み替え保管場所経由で最終処分）する場合、産業廃棄物管理票（マニフェスト票）を使用し、受注者の責において5年間保存すること。

産業廃棄物管理票（マニフェスト票）D・E票及び計量伝票を検査時に提示し、様式25の産業廃棄物管理票交付状況総括表は提出することとする。（設計計上量を最大値として、上記検収数量を算出数量として、変更の対象とする。）

6. 受注者が直接（法律に基づく許可地でない土地）処分地に投棄した処分量は、投棄量算出量としない。
7. 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結する。また、運搬及び処分を業とする許可書を、委託契約の写し及び処理業者の所在地と運搬ルートとともに施工計画書に添付すること。
8. 受注者は建設資材廃棄物の産業廃棄物処分業者への引渡しが完了したときは、「産業廃棄物等の不適正な処理の

防止に関する条例」(平成15年3月17日兵庫県条例第23号)第16条の3に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督員に提出すること。(工作物等解体工事は請負代金500万円以上、建築物解体工事は延床面積80㎡以上)

第8条 舗装の切断作業に伴い発生する濁水等の適正処理

1. 濁水等の適正処理

舗装の切断作業に伴い発生する濁水等は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、下表の分類により、適正に処理すること。

表 産業廃棄物の分類

区分 \ 工法	濁水が生じる工法 (湿式)	濁水が生じない工法 (空冷式等)
排出形態	濁水	粉体
産業廃棄物の分類	「汚泥」、含まれる成分によっては、「汚泥＋廃アルカリ混合物」 ※乾燥させた場合も同様	「がれき類」 ※政令市等[神戸・尼崎・西宮・明石・姫路]以外における取扱い。政令市等における分類は異なる場合があるため、別途当該市の環境部局に確認のこと

2. 濁水が生じる工法での処理方法等

濁水が生じる工法(湿式)を採用する場合は、産業廃棄物の「汚泥」または「汚泥＋廃アルカリ混合物」として適正に処理すること。収集・運搬・処理方法は下記①～③のとおりとする。

① 収集方法

以下の収集方法等により、直接現場外に排水することなく、適正に収集すること。なお、これらの方法は指定ではなく、各現場にて適正に収集することが可能な方法で収集すること。

＜収集方法(例)＞

- ・濁水を収集する機能を有するカッター機械(バキューム式)による収集
- ・工業用掃除機による収集
- ・濁水をスポンジ等で吸着させバケツ等に移し替えて収集

② 運搬方法

収集した濁水は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の運搬の基準に従い、適正に処理すること。

③ 処理方法

収集した濁水は、産業廃棄物の「汚泥」として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理すること。

なお、収集した濁水に含まれる成分によっては、産業廃棄物の「廃アルカリ」との混合物に分類される可能性があるため、処理の際には十分注意すること。また、pH12.5以上の場合は「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となるので十分注意すること。

「廃アルカリ」や「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となった場合には、その処理方法を監督員と協議の上、適正に処理するものとし、その際に必要となる経費については、設計変更の対象とする。

3. 濁水が生じない工法での処理方法等

濁水が生じない工法(空冷式等)を採用する場合は、収集にあたり吸引装置を併用するなど、粉塵の飛散防止対策を行うとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物の「がれき類」として適正に処理すること。

4. 当初設計における濁水処理費

当初設計においては、濁水処理費を以下のとおり計上している。①濁水量は実施数量(マニフェストで確認)に応じて設計変更を行う。

- ① 濁水量 0.08 t
- ② 運搬費 普通トラック(2 t) 運搬

③ 処理施設

廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所在地	受入等諸条件	その他
「汚泥」 (泥水)	(株)赤穂リサイクルセンタ ー	39.7 km	赤穂市加里屋 1250-1	兵庫県土木部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に記載の当該施設の受入条件を遵守すること	監督員の指示による

上表については、積算参考条件を明示しているものであり、受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設もしくは産業廃棄物処分場としての許可を有する施設を選定し、共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設の抹消などにより受入困難となった場合や、受注者が選定した施設が県登録施設または上表の施設以外の施設で、処理費が当初設計より安価となる場合は、設計変更を行う。

この他、工事発注後に明らかになった事情により、当初想定した積算参考条件により難しい場合は、監督員と協議の上、必要に応じて設計変更を行う。

第9条 週休2日確保工事について

1. 本工事は、原則週休2日（土曜・日曜）を確実に取得できるよう工事を実施する「週休2日制度」の対象工事であり、その旨を工事看板（看板④）に明記すること。（受注者は契約後、施工計画書を提出する。）建設業へ入職しやすい環境整備のため、週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し、施工計画を作成するなどの取り組みを行う。
2. 悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は、1ヶ月あたり2日を上限として、土曜・日曜の現場閉所を平日に振り替えることを可能とする。なお、完全週休2日（同一週内での週休2日）または月単位の週休2日が認められる状態になるよう振り替えること。
3. 現場稼働中の工期〔工事着手（現場測量等）前、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く〕において現場閉所の週休2日（完全週休2日（土日）または月単位の週休2日）を達成した場合に工事成績の評価を行う。
明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合は、「法令遵守等」で減点措置を行う。
4. 現場閉所の確認のため、受注者は工事履行報告書を提出すること。
5. 土曜・日曜の休日に受注者の作業員や下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等（監理技術者、主任技術者、監理技術者補佐）が休日に書類作成等の内業や他の現場に従事することを制限しない。但し、専任の者である場合、他の現場に従事しないこと。
6. 受注者は週休2日制度から週休2日制度（交替制）へ変更する場合、工事着手までに発注者と協議の上、変更することができる。ただし、工事着手後の変更は認めない。

第10条 特定外来生物の駆除について

1. 工事着手前に工事区域内において、以下に示す特定外来生物が生育していないか現地踏査を行い、特定外来生物の生育の有無を、監督員に報告すること。なお、下記に記載の特定外来生物の生育が確認された場合は、別途、施工計画書にその処分、運搬方法等について記載すること。

・特定外来生物の種類：

アルゼンテナ・フィロロイデス(カヅツノゲイトウ)、ヒステリア・ストリクタス(ボタンギク)、アゾラ・クリスタ、コロプシス・ラングスタ(オキクヅク)、ギュムノロニス・スピラントデス(ミズヒマワリ)、ルトベキア・ラキエタ(オハコソウ)、セネオ・マダガスカルシス(サルサグク)、スギョオス・アンガラトウス(アチウリ)、ミリアフォルム・アクアティム(オハサメ)・ルトウギア・グランディフロラ(オハナミズキンバイ等)、ヴェロカ・アカリス・アクアティカ(オカザシヤ)、の植物11種

(詳細については、下記の環境省ホームページ

URL：<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list.html> を参照)

2. 確認された特定外来生物の防除を行う場合、別紙防除実施計画書に基づいて個体を採取し、処分しなければならない。
3. 特定外来生物の防除完了後、防除記録台帳を作成し、監督員に提出すること。
4. 特定外来生物を含む残土については、極力、現場内にて処分するよう努めること。

第11条 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第12条 施工管理

1. 受注者は、本工事に関する施工管理担当者を定め、その氏名を書面で発注者に通知しなければならない。施工管理担当者を変更したときも同様とする。
2. 主任技術者（監理技術者）及び専門技術者は、前項の施工管理担当者を兼ねる事が出来る。
3. 施工管理担当者は、土木工事施工管理基準及び規格値、同運用方針により、施工管理を実施しなければならない。また、工事の進捗に伴い、必要な事項が生じた場合には追加することがある。
4. 施工管理のうち、品質および出来形管理については、管理基準および規格値、同運用方針に基づいて試験や測量を実施するとともに、そのデータを用いて管理図等（管理図またはデータの集計表）を作成し、提出すること。（データのみの提出はしないこと）

第13条 写真管理

1. 写真管理については、土木工事施工管理基準の写真管理基準により撮影、整理すること。
黒板・スタッフ・ポール等をあて工種、測点ごとに明確に撮影し、分り易く整理して提出すること。
2. 写真はカラーL版（89×127mm）とする。ただし、着工前及び完成写真等は、キャビネ版（127×178mm）またはパノラマ写真（つなぎ写真可）とし、それぞれ対比して撮影すること。
3. 完成写真には測点及び起終点方向を明示すること。

第14条 品質規格

1. 本工事に使用する材料の品質規格は、共通仕様書及び「小型構造物標準図集」によるものとする。
2. （瀝青材料）
 - ① 本工事における再生密粒度アスファルト混合物（TOP13）は下水汚泥熔融スラグを用いたアスファルト混合物（以下「下水汚泥スラグアスファルト混合物」という。）の使用を原則とする。
ただし、材料の調達が困難な場合は通常の再生密粒度アスファルト混合物の使用を妨げない。
なお、この場合、事前に監督員の了解を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。
 - ② 下水汚泥スラグアスファルト混合物における材料の試験成績表や品質証明書の提出、配合設計及び試験練り等については、土木工事共通仕様書によるものとする。
 - ③ 下水汚泥熔融スラグ及び下水汚泥スラグアスファルト混合物の品質管理は「下水汚泥熔融スラグの品質基準」、「下水汚泥熔融スラグを用いたアスファルト混合物の品質基準」を満たすものとする。
 - ④ 下水汚泥スラグアスファルト混合物には揖保川浄化センター（兵庫西流域下水汚泥広域処理場）で製造された熔融スラグを使用するものとする。
 - ⑤ 受注者は、アスファルト混合物事前審査委員会の事前審査で認定した加熱アスファルト混合物を使用する場合は、事前に認定書（認定書、混合物総括表）の写しを監督員に提出できるものとする。この場合、「土木工事共通仕様書」によらず、アスファルト混合物及び混合物の材料に関する品質証明書・試験成績表の提出及び配合設計・試験練りを省略することができる。
 - ⑥ 事前審査制度認定書による場合の「品質管理基準」は以下のとおりとする。

工 種	種 別	試験区分	試 験 項 目	試 験 基 準
ア ス フ ア ル ト 舗 装	材 料	必 須	土木施工管理基準 「品質管理基準」の全項目	事前審査による認定書の提出
		その他	土木施工管理基準 「品質管理基準」の全項目	
	プ ラ ン ト	必 須	配合試験	土木施工管理基準「品質管理基準」に基づきプラントの自主管理による（注1）
			混合物のアスファルト量抽出	
			混合物の粒度分析試験	
			温度測定（混合物）	
			基準密度の決定	事前審査による認定書の提出

（注1） 監督員の指示があった場合は、試験結果一覧表を提出するものとする。

第15条 一般施工

1. (準備工)

伐開、除根及び段切工等の準備工については、共通仮設費の中に含まれるので、土木工事共通仕様書に則って実施すること。また、除根材については建設廃棄物の対象となるため、監督員と協議の上、適正に処分するものとする。

2. (とりこわし工)

コンクリート構造物及びアスファルト舗装版を取り壊した時は、速やかに取壊し数量及び根拠となる図面を監督員に提出しなければならない。

3. (オーバーレイ工)

①横断測量の間隔は20mとする。

②既設舗装の不良部の除去、及び不陸の修正が必要な場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

③交通開放する場合、施工に伴う段差は交通に支障のないよう縦断・横断方向4%以下の勾配ですりつけ舗装を施工し、危険防止と交通安全を図らなければならない。

第16条 詳細図等の作成

取り合い、現地再測量による数量等の変更、構造物の変更および追加による図面は、監督員と協議の上、受注者が全て作成すること。(設計変更に使用できる図面と数量を提出すること。)

第17条 工事標示板等

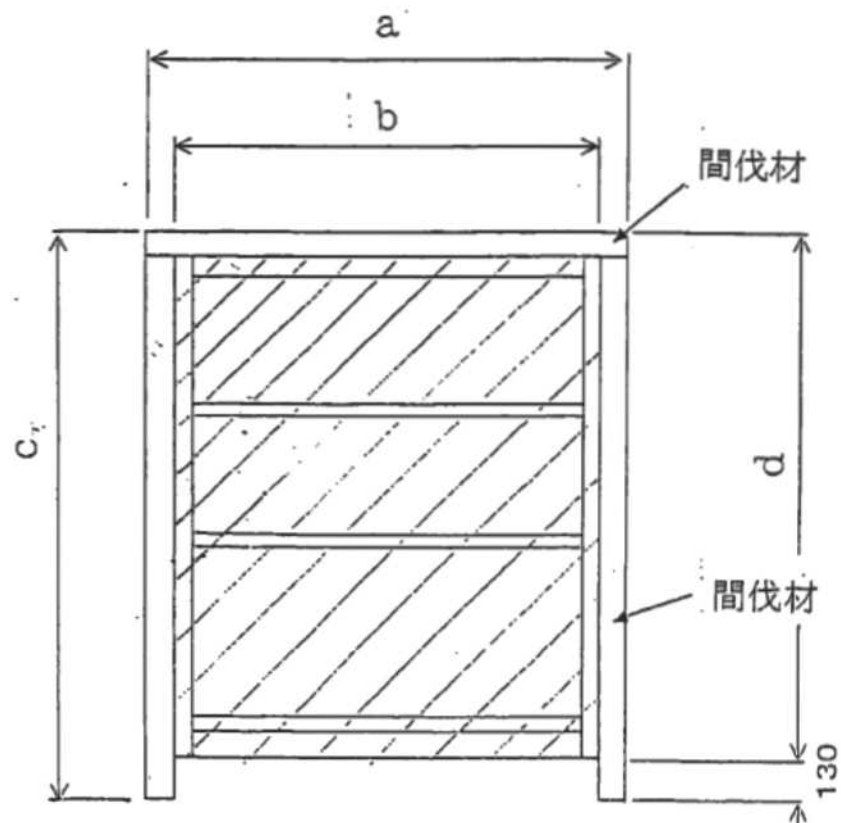
1. 受注者は、工事看板に宍粟産間伐材を使用すること。また、宍粟市のマスコットキャラクター「しーたん」を工事看板に表示し、工事現場に設置すること。(看板①)
2. その他の標示板〔お願い看板、まわり道、誘導標示板等〕にあっても積極的に宍粟産間伐材を使用すること。

第18条 その他施工関係

1. 土質の状態により、工法の変更もあり得るので、掘削時に監督員と現地確認を行い協議すること。
2. 本工事設計書の種別欄の記号は、別冊小型構造物図集に掲載の形式を表示している。
名称、単位、数量、構造物を省略かつ代表断面により発注しているので、受注者は施工にあたり位置・形状・寸法等に誤りの無いようにしなければならない。
3. 受注者は、縦断面図等のない場合でも、縦断勾配の配慮を要する構造物については、特にその目的及び機能を果たす施工をしなければならない。
4. 受注者は、軽微な取り合わせ等、現場の納めについては、図示されていないものであっても施工するものとする。
5. 監督員と協議・打合せした内容については、書類にて監督員に提出するものとする。
6. 本工事の施工にあたり河川への影響がある場合は、事前に関係者と調整を図ること。
7. 広範囲に住民等に周知する工事及び交通量が多い工事においては、看板②を見やすい場所に設置するとともに看板③を起終点に設置を行うこと。
8. 当該工事によるマンホール等の高さ調整について、起工測量に基づき調整箇所数及び調整高を監督員へ報告し、監督員及び占有者の了承を得た後、高さ調整を行うこととする。なお、起工測量に基づき調整箇所数等に変更が生じることがある。
9. 上記によらないマンホール等の高さ調整については、起工測量に基づき調整箇所数及び調整高を監督員へ報告し、発注者と占有者で協議し、占有者にて調整を行う。
10. 本特記仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議すること。

工事看板 参考図

【看板①】



※間伐材（杉・檜・松）

（例）

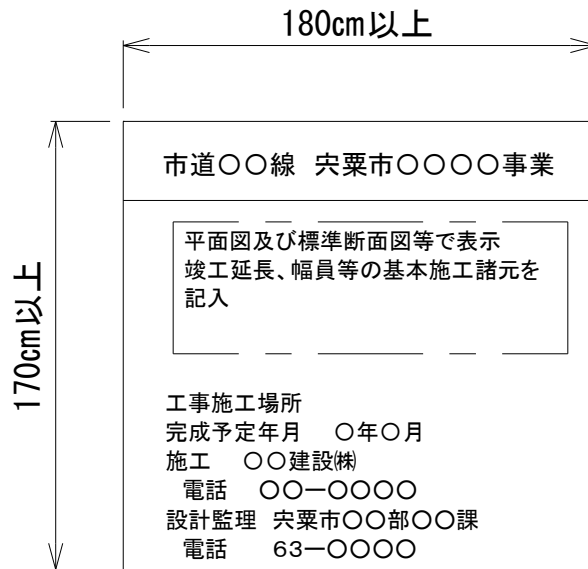


※図柄と文字のバランスは、上図を参考とする。

※下地は、白色とする。

【看板②】

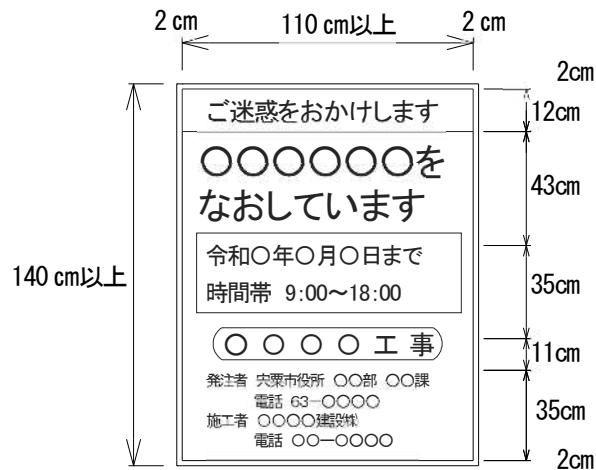
＜工事標示板を明記する工事看板例＞



(注)(1) 看板設置箇所を決定し、平面図の方向が現場の方向と合うよう調整する。

【看板③】

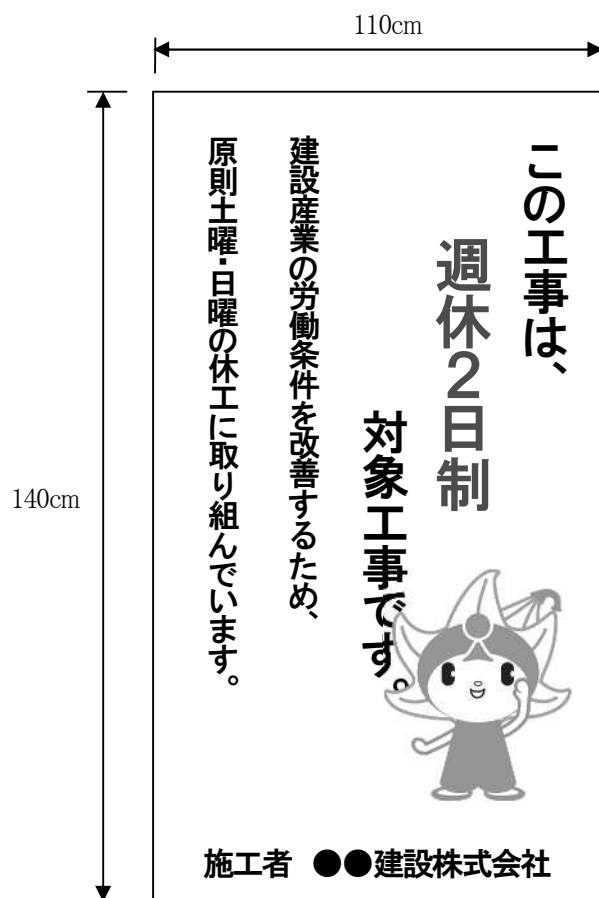
＜工事標示板を明記する工事看板例＞



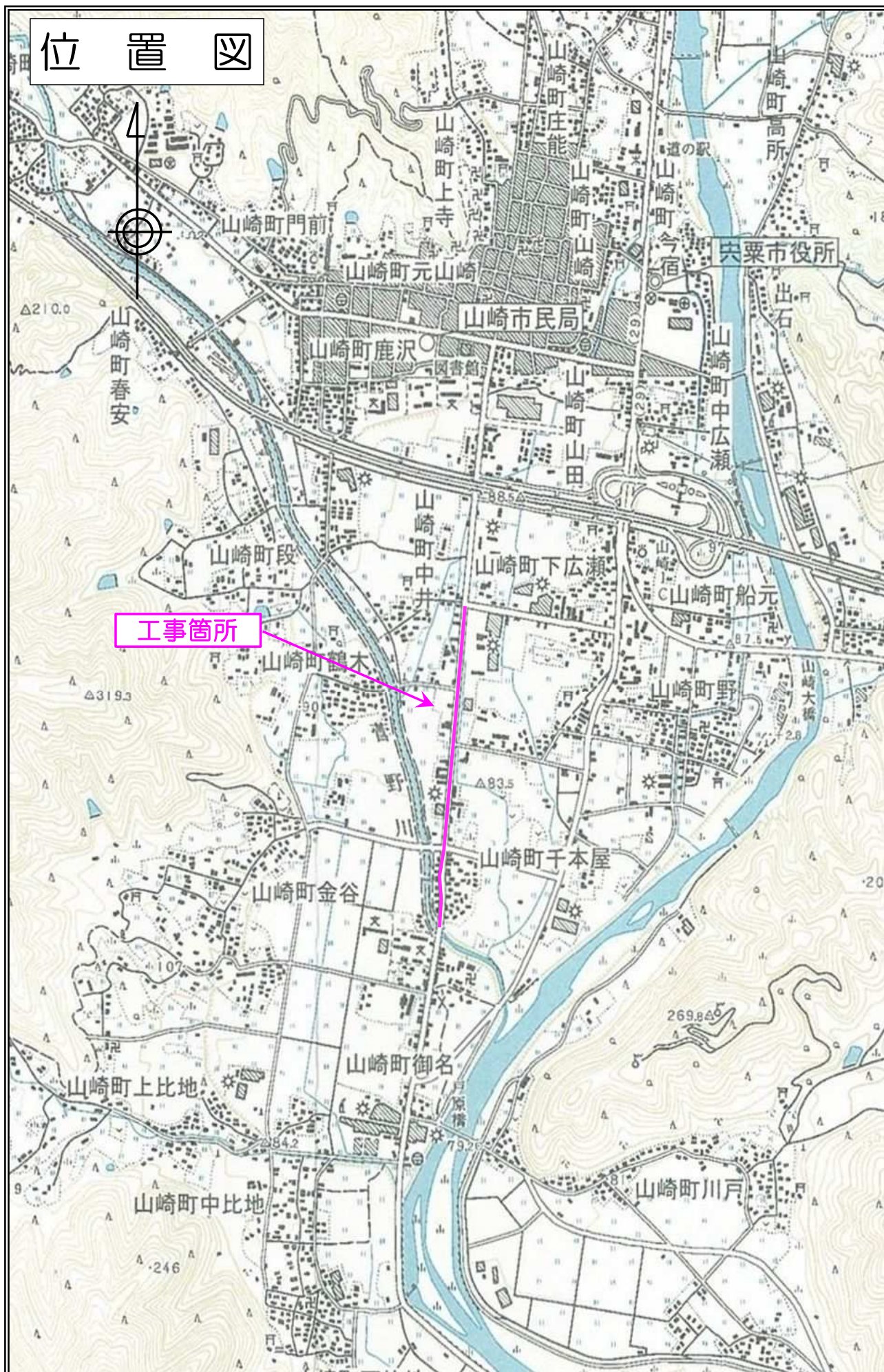
- (注)(1) 色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「舗装修繕工事」等の工事種別については青地に白抜き文字とし、「〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、下地を白色とする。
- (2) 縁の余白は 2cm、縁線の太さは 1cm、区画線の太さは 0.5cm とする。

【看板④】

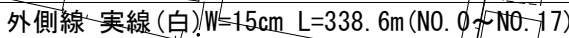
＜週休２日制度対象工事であることを明記する工事看板例＞

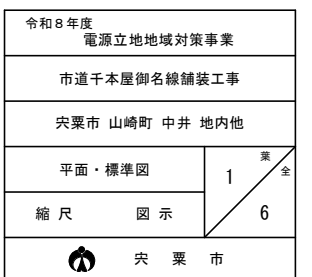
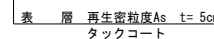
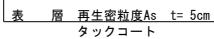


位置図

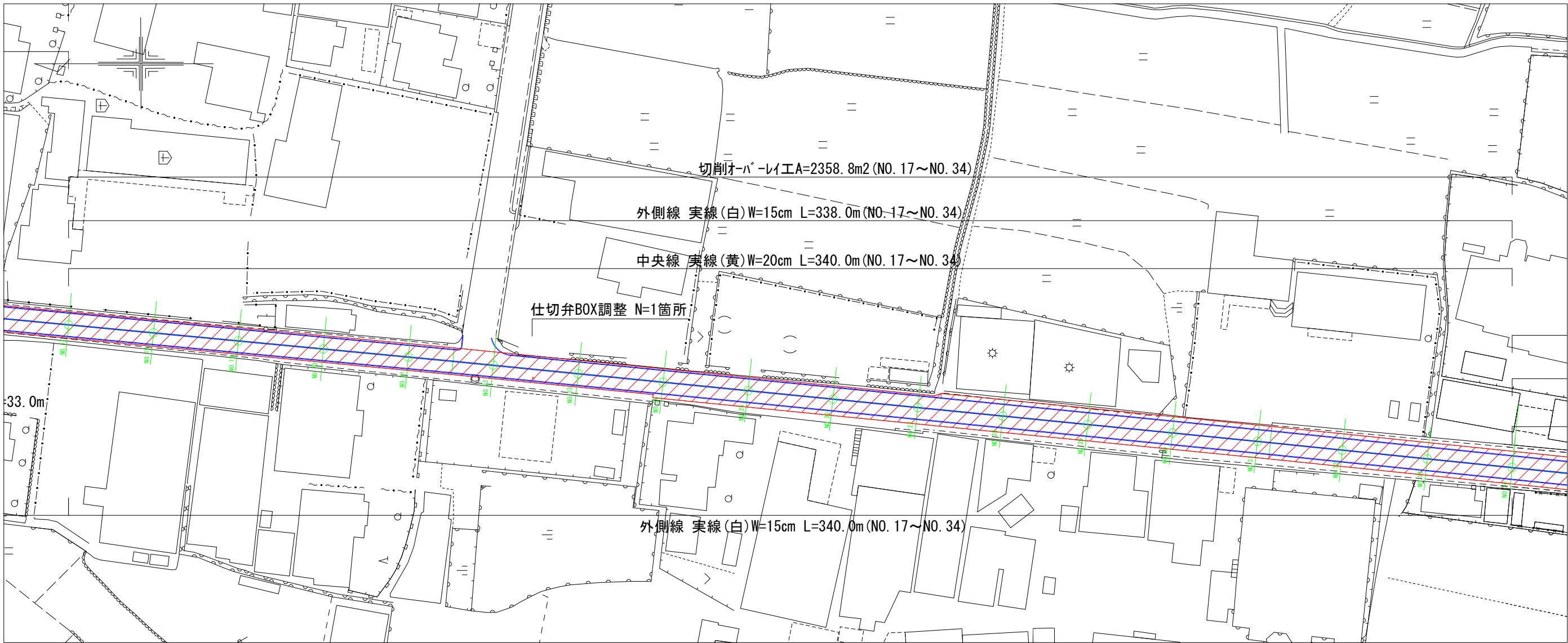


s = 1 : 1000



 $s = 1 : 100$ 

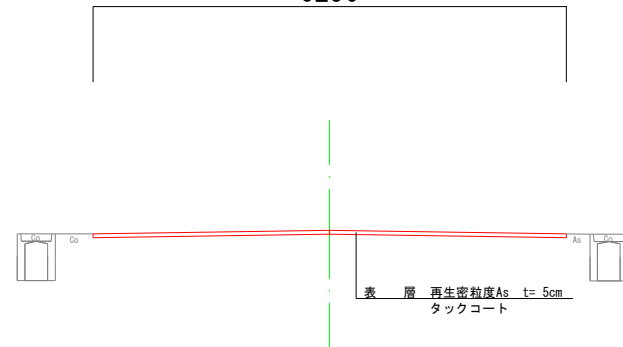
平面図 s=1:1000



標準断面図 s=1:100

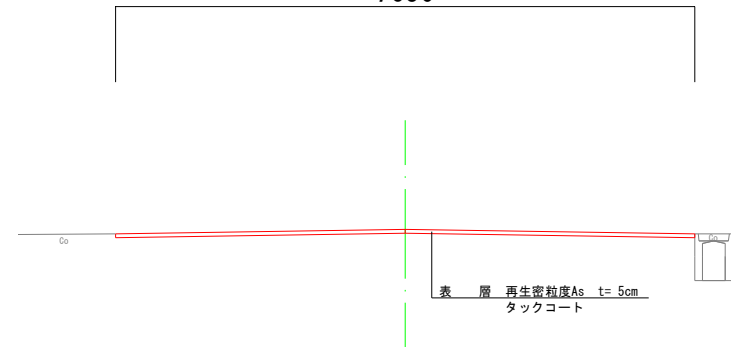
No. 21付近

6250



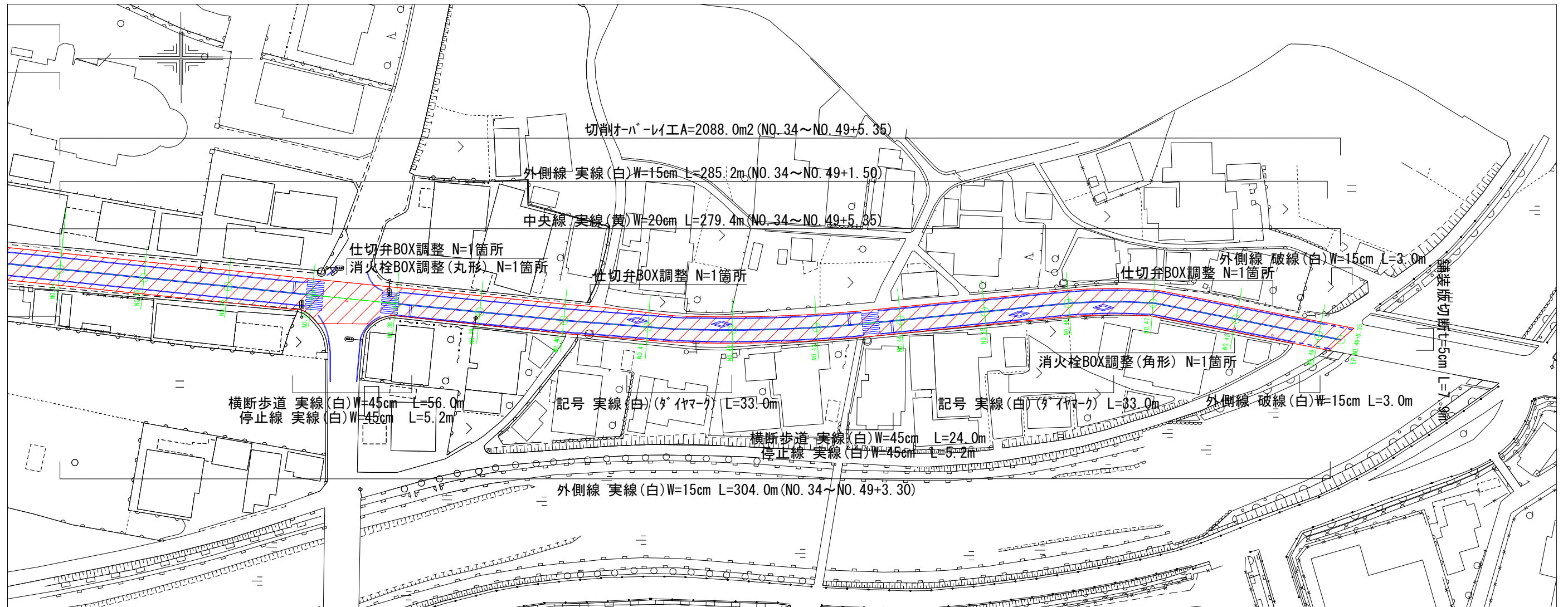
No. 28付近

7650



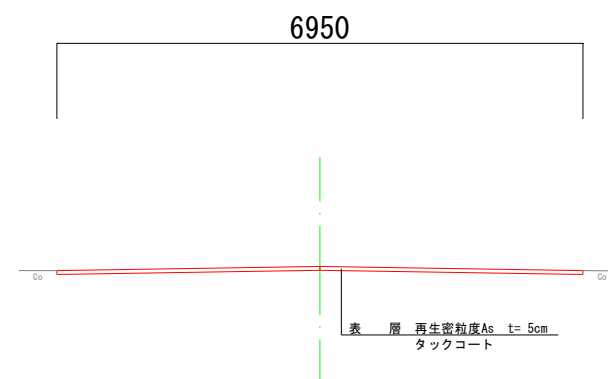
令和8年度 電源立地地域対策事業	
市道千本屋御名線舗装工事	
宍粟市 山崎町 中井 地内他	
平面・標準図	2/6 全
縮尺 図示	6
宍 粟 市	

平面図 s=1:1000

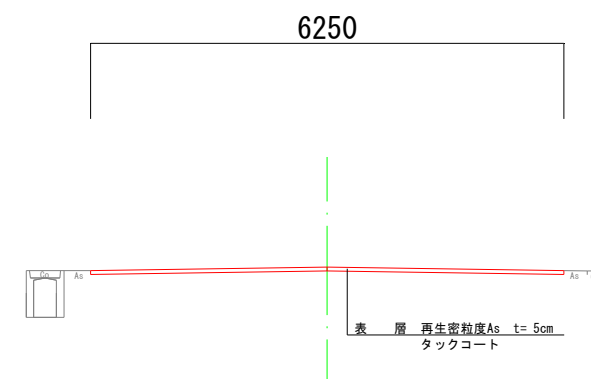


標準断面図 s=1:100

No. 40付近



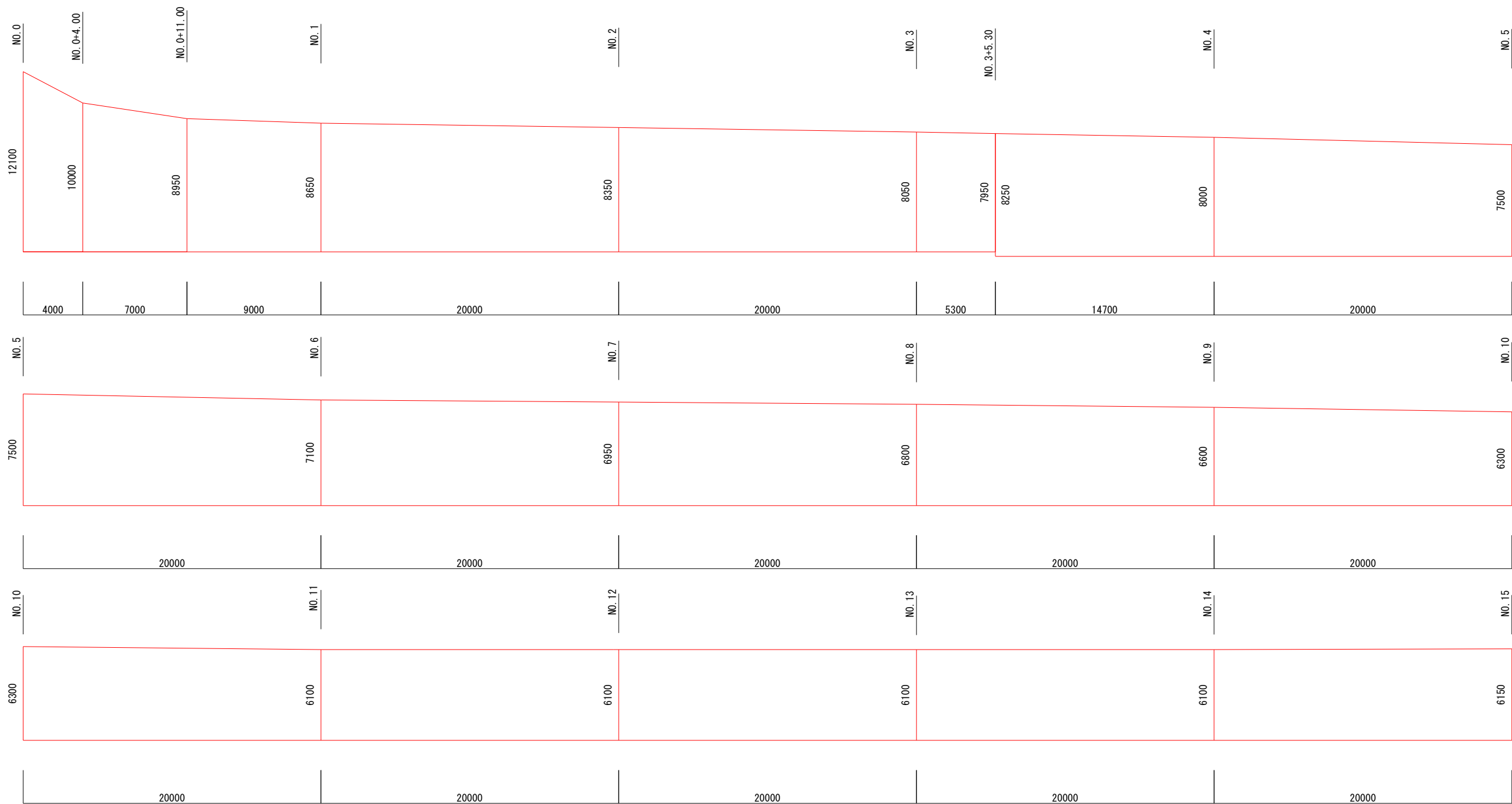
No. 48付近



令和8年度 電源立地地域対策事業	
市道千本屋御名線舗装工事	
矢栗市 山崎町 中井 地内他	
平面・標準図	3
縮尺 図示	6
矢栗市	

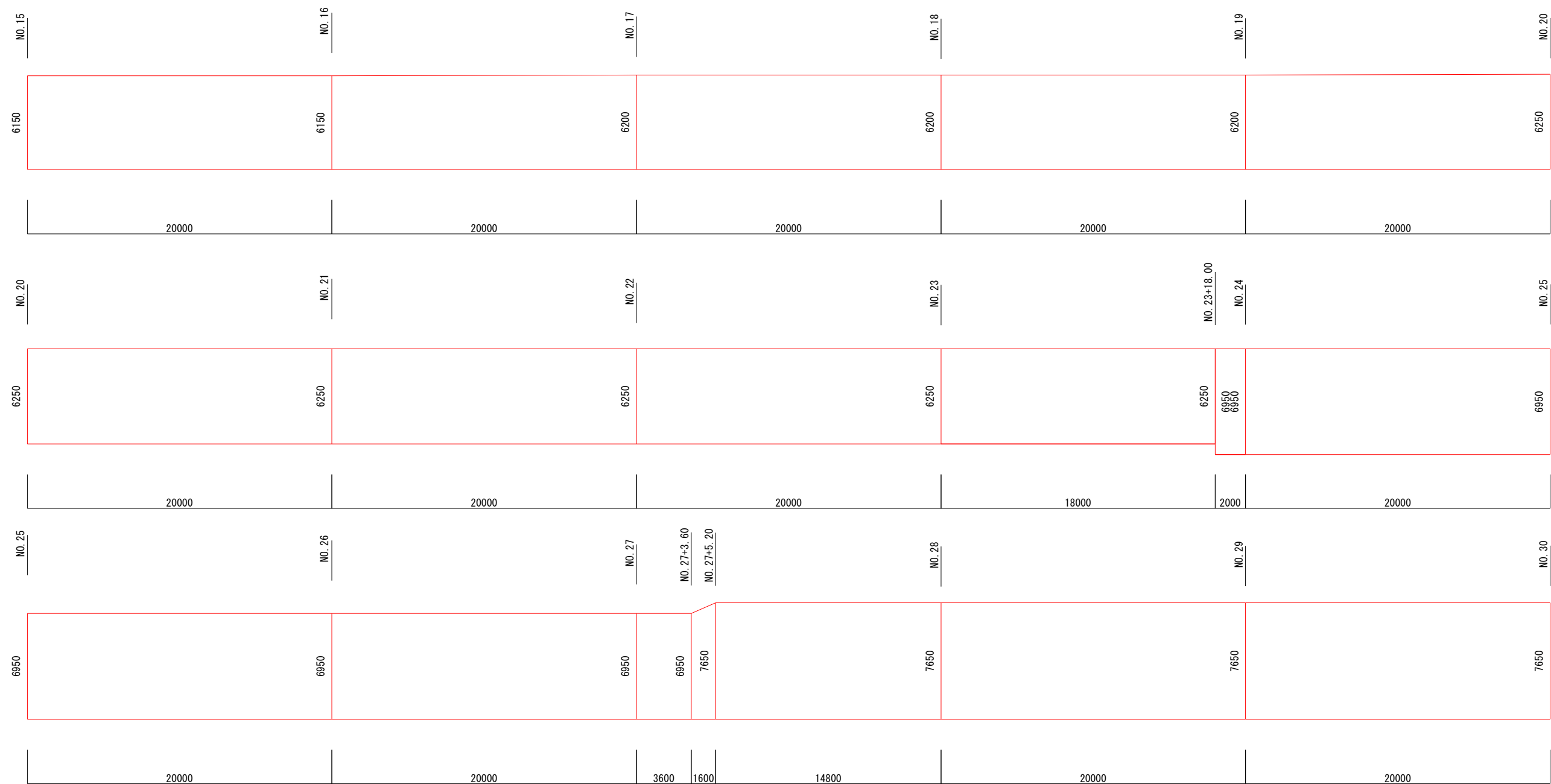
舗装展開図

s = 1 : 300



令和8年度 電源立地地域対策事業		
市道千本屋御名線舗装工事		
宍粟市 山崎町 中井 地内他		
舗装展開図	4	葉全
縮 尺 図 示		6
 宍 粟 市		

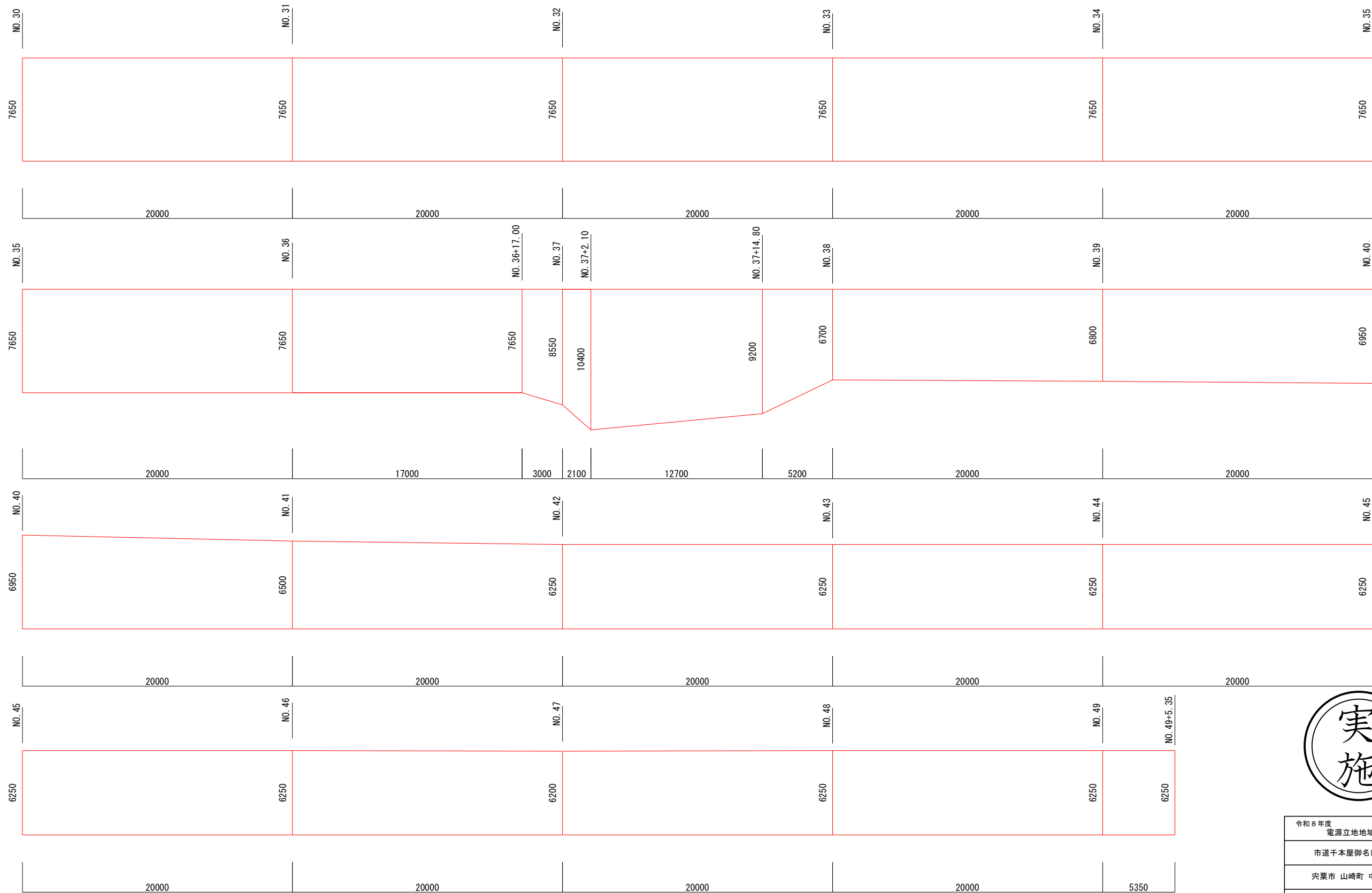
舗装展開図
8 = 1 : 300



令和8年度 電源立地地域対策事業	
市道千本屋御名線舗装工事	
宍粟市 山崎町 中井 地内他	
舗装展開図	5 全 6
縮 尺 図 示	
 宍 粟 市	

舗装展開図

s=1:300



令和8年度 電源立地地域対策事業		
市道千本屋御名線舗装工事		
宍粟市 山崎町 中井 地内他		
舗装展開図		業 全 6 6
縮 尺 図 示		
 宍 粟 市		